

痛くならない 死に方

四六判
本体1000円+税

死ぬとき、
人はどうなるのか？

- がん終末期の場合 ●老衰の場合 ●臓器不全症の場合
- 認知症終末期の場合 ●人工透析の場合
- 安楽死の真実……今まで誰も言わなかった
- 痛くない、苦しくない、人生の終わり方とは？

私は在宅医として、末期がんの患者さんは9割、非がんの患者さんは半分くらいの確率で看取ることになります。お看取りの直後に、ご家族が必ず言われる言葉があります。「長尾先生、思ったよりずっと楽に逝きました。苦しくも、痛くもなさそうでした。ありがとうございました」。なぜ楽に逝けたのか？「死」と「痛み」について、できるだけ具体的に書きました。

日本尊厳死協会 副理事長

長尾和宏医師

最新刊!

2冊
同時発売

2000人の最期を看取った
医師だから言えること。



著者出版記念講演会決定!

●日時:2017年1月27日(金)19時30分～ ●会場:八重洲ブックセンター本店(東京駅)8階ギャラリー ●募集人員:80名(申し込み先着順) ●定員になり次第、締め切らせていただきます ●申込方法:1階カウンターにてお申し込みください。広告の書籍、いずれかをご購入の方に参加整理券を差し上げます。お電話によるお申し込みも承ります。(電話番号:03-3281-8201) ●主催:八重洲ブックセンター 協賛:ブックマン社 ●詳細はブックマン社のホームページまで

薬の やめどき

「高血圧の薬」「糖尿病の薬」「コレステロールの薬」
「骨粗しょう症の薬」「睡眠薬」「抗不安薬」
「抗生物質」「胃腸薬」「抗認知症薬」……
薬の種類が増えるたびに、
健康長寿から遠ざかる!

四六判
本体1300円+税

5種類以上の薬を
飲んでいる人、必読!

薬には必ず副作用がある!多剤投与になれば、副作用は無限に増える!しかし、医療や薬には「やめどき」という概念があること自体、ほとんどの医師は言ってくれない。いや、考えたこともない領域なのか。本書は、「薬のやめどき」から、長生きと健康について指南した本である。あなたにとって本当に必要な薬とは?